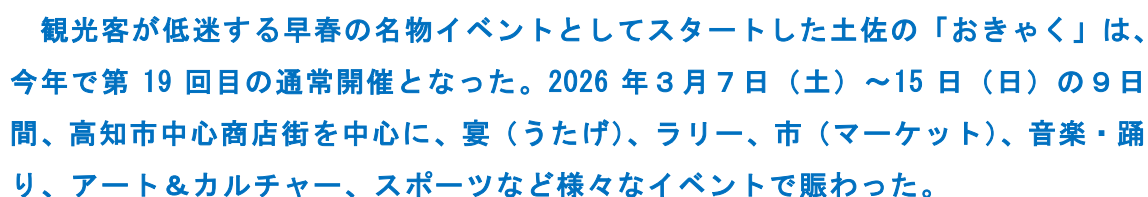


株式会社四銀地域経済研究所
調査部 主任研究員 山本 翔太郎



～土佐の「おきゃく」Q&A～

Q：そもそも「おきゃく」ってなに？

A：土佐弁で「宴会」の意味です！

土佐では昔から、冠婚葬祭などことあるごとに大勢で集まっては酒を飲み、親交を深めてきました。そうした宴会を「お客（おきゃく）」と言います。参加する人は親族だけでなく、村・町の人、はたまた偶然となり合わせた人など、誰でも気さくに参加できるのが土佐流の宴会です。



土佐の「おきゃく」2026
実行委員長
土佐かつお

Q：どんなイベントなの？

A：中心街など、様々な場所を会場にした大きな宴会！

高知の中心街をはじめ、さまざまな場所を宴会場にみて、個性豊かなイベントを開催します。「おきゃく」＝「宴会」ですので、基本、お酒が楽しめる大人向けの宴が繰り広げられますが、どれも「まあ、のんでいきや」と、土佐人のもてなしの文化に触れられる高知らしいイベントです。

酒、グルメ、音楽、アート、よさこい踊りなど、様々なイベントでもてなします。土佐の「おきゃく」に來れば高知の全てが分かると言っても過言ではありません。

高知ならではの当地グルメや地酒などを楽しめる土佐の「おきゃく」



音楽、よさこい踊りなど、様々なイベントが楽しめる
 (左：ラ・ラ・ラ春まつり、右：よさこい春の舞)



Q：人気の秘密を教えてください！

A：スタッフのもてなしの心が県外ゲストを虜に！

「高知の楽しさを知ってほしい」「美味しいものを食べてほしい」「また高知に来てほしい」という、イベントの各主催者のもてなしの心や熱い思いが人気の秘密だと感じています。土佐の人はどんな人でも暖かく受け入れ、その人に喜んでもらうことを最大の喜びと感じているので、初めて訪れた人も自然と馴染んでしまうはずです。

ここに人あり、自由あり。

土佐の「おきゃく」2026実行委員長
 土佐 かつお



はりまやの大おきゃく



シン・安芸のおきゃく



オールドアメリカンフェスティバル



プロアマ対抗戦
「高知ファイティングドッグス vs 四国銀行」



Q：「おきゃく」文化に欠かせない皿鉢(さわち)と酒。特色は？

A：「献上の美德」が表れた土佐の文化そのもの！

皿鉢料理とは高知県の郷土料理で、大皿に刺身や寿司、煮物や揚げ物、デザートなどが盛り付けられたものです。土佐の「おきゃく」も皿鉢料理のように、様々な味わいの違うイベントを一堂に楽しめます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大以降は少なくなっていますが、高知の宴では「献杯」「返杯」という習慣があります。「献杯」は、目上の人や尊敬する人にお酒を差し上げ、教えを頂戴しながらお酒を飲むというもので、「返杯」は、相手からさされた杯のお酒を飲み干して、その杯を相手に返しお酒をつぐことです。いずれも「献上の美德」が表れた土佐の文化そのものです。



べろべろの神様
©デハラユキノリ
©土佐のおきゃく

様々な皿鉢料理が展示される「南国土佐皿鉢祭」



Q：ゆっくりとお座敷遊びを楽しみたい！

A：酒國・土佐の酒席文化を楽しむなら、「お座敷体験」へ！

「はし拳」や「可杯（べくはい）」、「菊の花」や「しばてん踊り」など、土佐の宴会を盛り上げる「お座敷遊び」が一度に体験できる「土佐のお座敷体験」。高知の地酒と料理を嗜みながら楽しむことができます。



©デハラユキノリ

©土佐のおきやく

土佐のお座敷体験



土佐のお座敷遊びに欠かせない「はし拳」「可杯（べくはい）」「菊の花」



【要旨】

- 2026 年3月7日(土)～15 日(日)の9日間、19 回目の通常開催となる土佐の「おきやく」が開催された。**来場者数は 100,425 人、経済波及効果は 38 億 4,008 万円となり、いずれも過去最高を更新した。**
- 経済波及効果は過去最高だった前年(2025 年)の約 1.8 倍となった。全ての来場者属性において来場者数が増加するとともに、消費単価の高い県外宿泊客が前年比+10,324 人(+71.6%)と大幅に増加したことで、一人当たり観光消費額も前年比+6,642 円(+48.3%)の大幅増となり、経済波及効果を来場者数の伸び以上に押し上げた。
- 県外宿泊客の増加の背景として、参加回数2回目以上の県外リピーターが 2019 年比約 4.6 倍の推計 17,101 人に達したことが挙げられる。また、県外来場者が本イベントを知ったきっかけとして「口コミ」(31.6%)・「SNS」(27.9%)が上位を占め、公式 Instagram の1投稿当たりエンゲージメント数平均は前年比約 2.3 倍に増加するなど、口コミ・SNS を軸とした認知度向上がリピーター定着と新規誘客の両面に貢献したと考えられる。
- 今後も魅力的なイベントを多数開催し、県外宿泊客向けの宿泊プラン造成や効果的な情報発信を継続することで、県内の幅広い地域に「おきやく」の効果が広がっていくことが期待される。

1. はじめに

本報告書は、高知県の食文化を体験できる早春の一大イベント、土佐の「おきやく」によって高知県経済にもたらされる経済波及効果を調査・把握し、高知県観光振興の一助を担うことを目的とする。

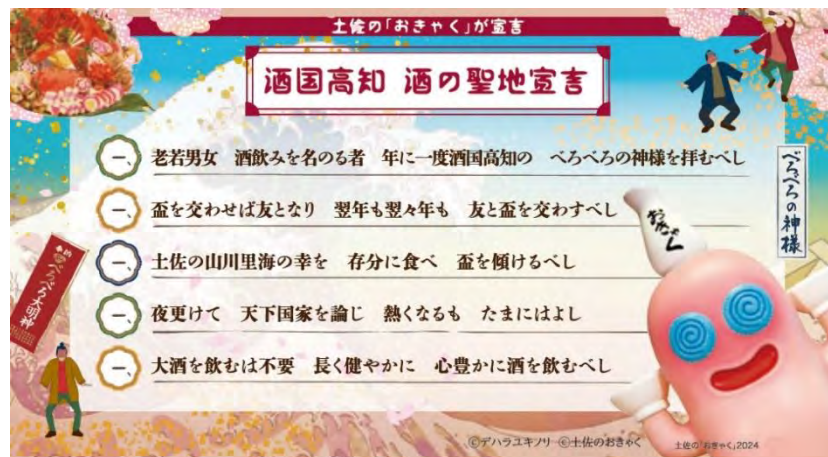
2. 土佐の「おきやく」開催の経緯

2005 年、土佐経済同友会観光振興委員会において、高知県の観光振興策を議論するなか、四季折々、観光誘客が図れるスーパーイベントを開催することが観光振興には欠かせない、との結論に達した。高知県には、春の「お城祭り」、夏には「よさこい祭り」というスーパーイベントがあり、秋には「龍馬生誕祭」があるものの、冬は「南国土佐皿鉢祭」だけで、ボリュームと奥行きに欠けるとの認識があった。

そのような中、観光客数が低迷する冬場に観光客数を増加させるスーパーイベントを開催し、高知県の観光振興を図るとともに、高知県経済への波及効果を狙い、高知の元気へつなげていこうと、2005 年 9 月、「NPO 法人高知の食を考える会」、「土佐経済同友会観光振興委員会」などが中心となって事務局を立ち上げた。その後、運営において実質的な役割を果たす「実行委員会」が発足。実行委員会をサポートし、円滑な事業運営のための後方支援組織として「推進会議」が発足した。

そして 2006 年に、3 月 2 日のプレ開催日を含め 12 日まで第 1 回目の土佐の「おきやく」2006 が開催された。以降、毎年 3 月初旬に開催されている。

図表－1 土佐の「おきやく」 酒国高知 酒の聖地宣言



出所：土佐の「おきやく」HP

3. 土佐の「おきやく」2026 概要

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| (1) イベント名称 | 土佐の「おきやく」2026 |
| (2) 開催期間 | 2026 年 3 月 7 日（土）～ 3 月 15 日（日）の 9 日間 |
| (3) 会場 | 東洋電化中央公園他 |
| (4) 出店団体 | 48 団体 |

高知県の自然豊かな食材を使った料理や地酒などが堪能できる「ご当地グルメ屋台村」や「土佐の大座敷」、アーケード内にこたつと七輪が設置され、ゆっくり座って家族やパートナー、友人などで楽しめる「はりまやの大おきやく」など、「食」をはじめ、「アート」、「スポーツ」、「文化」などをテーマに、延べ39のイベントが行われた（図表－2）。また、

図表－2 土佐の「おきやく」2026 開催スケジュール

No.	イベント名	開催場所	主催者	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日
				金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	飲みもって 食べもって 寄付ぎふと	県内の協賛飲食店各所	認定特定非営利活動法人 NPO高知市民会議	※各店舗の営業時間に準ずる 3/1～3/31									
2	藍と器 / Indigo & Vessels - Denim Kimono & Tosa Craft	和の文化発信基地aiiro	有限会社 特選島屋いしはら	3/2～3/8 10:00～20:00									
3	土佐の「おきやく」プレオープン ゲートボール大会	高知県立春野総合運動公園 球技場	高知県ゲートボール協会	09:30～	08:00～								
4	ちょい飲み手帖高知販売	東洋電化中央公園	NTTドコモ四国支社		10:00～ 19:00	10:00～ 19:00							
5	おきやく横丁 土佐の市	大旺新洋おまち多目的広場	高知市		10:00～ 19:00	10:00～ 19:00							
6	(こ) まんさい×高知まんがBASE	高知まんがBASE 3F Cフロア	こうちまんがフェスティバル 実行委員会		10:00～ 17:00	10:00～ 17:00							
7	デハラSHOP	東洋電化中央公園	デハラユキノリ		10:00～ 21:00	10:00～ 21:00						10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
8	おきやくストリート	帯屋町一丁目商店街	高知異業種交流会あった会		12:00～ 20:00	12:00～ 19:00							
9	ラ・ラ・ラ春まつり	東洋電化中央公園（7、8日） 帯屋町公園（8日）	高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会		11:00～	11:00～							
10	ご当地グルメ屋台村	東洋電化中央公園	土佐の「おきやく」事務局		10:00～ 21:00	10:00～ 21:00							
11	ひろめdeおきやく	ひろめ市場	有限会社ひろめカンパニー	10:00～ 23:00	9:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	10:00～ 23:00	9:00～ 23:00
12	ジャンピングMAX2026 四国No.1決定戦	帯屋町1丁目アーケード	スポーツマックス	12:00～ 18:00									
13	濱長のおきやく	料亭濱長	NPO法人高知の食を考える会		18:30～							10:00～ 16:00	
14	土佐のお座敷体験、土佐の酒肴（さけさかな）	7日：ホテル高砂 11日：ホテルおおりや 13日：土佐御苑	高知市旅館ホテル協同組合		18:30～ 20:30			18:30～ 20:30		18:30～ 20:30			
15	第3回 オールドアメリカンフェスティバル	東洋電化中央公園	アメフェス実行委員会		18:30～ 21:00								
16	おびさんマルシェ	おびさんロード商店街全域	おびさんマルシェ実行委員会			11:00～ 日没							11:00～ 日没
17	食の祭典 第58回南国土佐皿鉢祭	大橋通り商店街・ひろめ市場前広場	南国土佐皿鉢まつり実施運営委員会			10:00～ 16:00							
18	第16回 土佐・ぶんたん祭	東洋電化中央公園北口	土佐文旦振興対策協議会			10:00～ 17:00							
19	アテンダント特別企画 ～土佐のおきやくのものがたり 2026～	土讃線 高知駅～窪川駅間	四国旅客鉄道株式会社		11:56～ 16:09							11:56～ 16:09	
20	ニンジャMAX	帯屋町1丁目アーケード	スポーツマックス			12:00～ 16:30							
21	『あんぱんとべろべろ高知』～西村雄正のうまいことやっちゃうにかーらん話！～	ラ・ヴィータ高知店	NPO法人高知の食を考える会			18:00～ 20:00							
22	第42回ドリンクラリーはしご酒大会	受付場所／帯屋町パラソーレ下	高知県社交飲食生活衛生同業組合				18:00～ 21:00	18:00～ 20:00	18:00～ 20:00				
23	あの有名ラーメン店がおきやくに帰ってくる！ 丸福ラーメン（3/13）、丸太小屋ラーメン（3/14～15）	レストランJ	レストランJ								12:00～	12:00～	12:00～
24	ピンクリボンチャリティゴルフコンペ	グリーンフィールゴルフ倶楽部	ピンクリボンチャリティ OMIZU no WORLD OPEN GOLF コンペ開催運営委員会								08:00～		
25	みんなあビールで乾杯！春うたとよさこい踊り withピンクリボン	東洋電化中央公園	NPO法人高知の食を考える会								17:00～ 21:00		
26	おきやく電車2026	電車車内	とさでん交通株式会社								18:30～ 19:40		
27	高知YEG肉カーニバル	帯屋町パラソーレ下 パラソーレ北側駐車場付近	高知商工会議所青年部									11:00～ 21:00	11:00～ 21:00
28	よさこい高知文化祭2026 PRブース	東洋電化中央公園	よさこい高知文化祭2026高知県実行 委員会事務局									10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
29	よさこい春の舞	東洋電化中央公園、 帯屋町1丁目・2丁目・大橋通り・京町	高知市商店街振興組合連合会青年部									16:24～	
30	はりまやの大おきやく	はりまや橋商店街	はりまやの大おきやく実行委員会									15:30～ 21:00	15:30～ 21:00
31	フロアマ対抗戦 「高知ファイティングドッグス vs 四国銀行」	日本トーター野球場（高知球場）	土佐の「おきやく」事務局 高知ファイティングドッグス									16:00～	
32	ジェットスターブース	東洋電化中央公園	ジェットスター・ジャパン株式会社									10:00～ 16:00	10:00～ 16:00
33	あなたの“ひと休み”ここにあります	東洋電化中央公園	高知県喫茶飲食生活衛生同業組合									10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
34	土佐の大座敷	東洋電化中央公園	土佐の「おきやく」事務局									10:00～ 19:00	10:00～ 19:00
35	シン・安芸のおきやく	安芸市ちりめんじゃこ通り南西駐車場	安芸のおきやく実行委員会									10:00～ 20:00	
36	アテンダント特別企画 ～土佐のおきやくのものがたり 2026～	土讃線 高知駅～窪川駅間	四国旅客鉄道株式会社		11:56～ 16:09							11:56～ 16:09	
37	完唱チャレンジ！土佐の「おきやく」で歌いきり まショー!! 2026	東洋電化中央公園ステージ	株式会社第一興商 高知支店									14:00～ 16:00	
38	ラテンミュージックフェスタ	帯屋町公園	obrigado花山海										10:00～ 16:00
39	土佐のおきやく ザ・綱引き2026 遠藤青汁カップ	帯屋町アーケード ドトール前	高知県綱引連盟										12:00～ 17:00

出所：土佐の「おきやく」HP

「シン・芸のおきゃく」や「アテンダント特別企画 ～土佐のおきゃくのものがたり 2026～」など、高知市中心市街地以外でのイベントの広がりもあり、県内外から多くの来場者で賑わった。

4. 経済波及効果の推計における前提条件

(1) 使用した産業連関表

「2015 年（平成 27 年）高知県産業連関表」をもとに、高知県（産業振興推進部統計分析課）が作成した「県経済波及効果簡易分析ツール（イベント開催用）」を用いて、経済波及効果（生産誘発額）の推計を行った。

従って、2016 年以降の産業構造の変化や物価動向については勘案しておらず、経済実態を十分に反映していない点について留意が必要である。

(2) 算定根拠となるアンケート調査

総消費支出額（直接需要額）の算定については、イベント実施企業や団体、および来場者に対してヒアリング、アンケート調査を行った。

●調査対象企業（団体）数 86

回答企業（団体）数 83

回収率 96.5%

●来場者アンケート数 340

土佐の「おきゃく」期間中のうち、2026 年 3 月 14 日（土）、3 月 15 日（日）の 2 日間、東洋電化中央公園にて実施。アンケート実施日以外の来場者の動態については反映されていない。

(3) 移輸出入

直接の消費需要により必要とされる消費財の一部のものについては、高知県外からの移輸入によって賄われるものとし、その他のものは自給可能とした。

(4) 来場者数

来場者数は、メインイベントが開催された東洋電化中央公園での集計（3 月 7～8 日、3 月 11 日、3 月 13～15 日の 6 日間）をベースに、来場者、イベント実施企業・団体からのアンケート結果を踏まえ推計した（図表－3）。

図表－3 来場者数推計

	高知県内		高知県外		合計
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
来場者数	62,766人	3,457人	9,460人	24,742人	100,425人
構成比	62.5%	3.4%	9.4%	24.6%	

なお今回の調査は、あくまでも土佐の「おきゃく」2026 の経済波及効果調査である「観光入込客数調査」ではないため、土佐の「おきゃく」2026 の全 39 イベント（調査団体（企業）数 86）の購入客、参加者、観光客のみを対象とした。

例えば、「土佐のお座敷体験、土佐の酒肴」に参加した観光客は、明らかに「土佐のお座敷体験、土佐の酒肴」に参加したい意思を持って来場しているため、全員来場者数としてカウントする。一方、「ひろめ de おきゃく」のような、土佐の「おきゃく」の来場者と「ひろめ市場」の来場者の区別がつかない場合、その多くは土佐の「おきゃく」のイベントであることを理由に「ひろめ市場」に来場していないと考えられ、単純な延べ人数を土佐の「おきゃく」の来場者数とするのは過大集計となる。

イベントの場合、土佐の「おきゃく」開催期間中に来場された観光客のうち、「インターネットや雑誌記事、テレビなどをみて行きたいと思った」「知らずに来たが、開催していることを知りイベントに参加した」人たちを土佐の「おきゃく」の来場者数としてカウントすることがより正確となるため、今回もそれに則り集計した。

また、同日開催で同一人が重複してイベントに参加、食事、観覧した可能性があることから、回答のあった全てのイベントごとに来場者数、観光消費額などを調査、補正の上集計した。

（５）一人当たり観光消費額

一人当たりの観光消費額は、来場者へのアンケート結果を踏まえ推計した（図表－４）。

図表－４ 一人当たり観光消費額推計

	高知県内		高知県外	
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客
宿泊費	－	6,632円	－	15,145円
飲食費	5,002円	6,129円	4,841円	13,691円
交通費	625円	7,763円	4,750円	15,956円
土産代	1,327円	3,421円	2,500円	7,709円
その他	286円	1,606円	677円	3,424円
合 計	7,240円	25,551円	12,768円	55,924円

（注）小数点以下を四捨五入しているため、内訳と合計の値は必ずしも一致しないことがある。

（６）土佐の「おきゃく」2026 の総消費支出額（当初需要額）

土佐の「おきゃく」2026 の総消費支出額（当初需要額）推計は、34 億 1,676 万円となった。内訳を見ると、来場者による観光消費額

図表－５ 総消費支出額（当初需要額）内訳

合 計	34億1,676万円
うち、主催者などの事業費	3,048万円
うち、来場者による観光消費額	33億8,627万円

（来場者数、一人当たりの観光消費額などの推計をベースに算出）が 33 億 8,627 万円、主催者・参加企業（団体）による直接経費が 3,048 万円となった。（図表－５）。

5. 経済波及効果について

イベントが開催されると、それに伴った様々な需要が発生し、地域全体に経済的な影響を及ぼすが、こうした経済波及効果は、主に3つに大別される（図表－6）。

（1）直接効果

直接効果とは、当初需要により生じる最初の生産増加額を指す。

具体的には、下記のような総消費支出額（直接需要額）のうち、県内で調達できるものについて生じる効果となる。調達できない一部の需要については県外から移輸入してくることになり、県内での生産活動には結びつかないため、経済波及効果の分析上では除外する。

【イベント主催者が直接支出する経費】

パンフレット作成のための印刷・編集費、会場の展示・装飾費用、会場費、レセプション費用、スタッフのための飲食費・交通費、アルバイトなどの臨時雇用費用など。

【来場客（観光客）が個人的に支出する消費】

宿泊費、飲食費、買い物費、会場までの交通費、観光・レジャー費など。

（2）間接1次波及効果

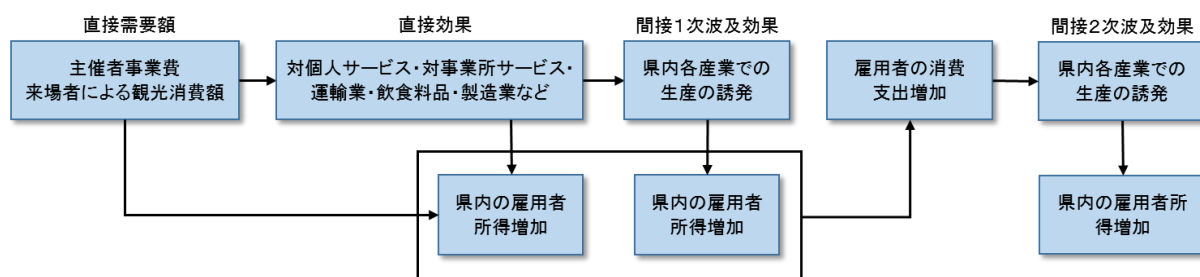
間接1次波及効果とは、直接効果によって生産が増加した産業で必要となる原材料など（財やサービス）を満たすために、新たに発生する県内生産の誘発効果を指す。例えば、自動車100台分の需要が増加し、全て県内で賄えた場合、直接効果としては車100台分の金額となるが、車を製造するために使われる部品（タイヤ・エンジンなど）、そしてその部品を作るための材料（鉄、ガラスなど）が波及的に生産される。このうち、県内で波及的に生産された部品や材料などの総額が間接1次波及効果となる。

（3）間接2次波及効果

直接効果、並びに間接1次波及効果により雇用者所得が増加すると、一定の割合で消費支出に回されるため、県内の各産業で更なる生産が誘発される。この経済波及効果を間接2次波及効果という。

なお、直接効果、間接1次波及効果によって生じる付加価値は、雇用者所得の他に企業利益に相当する営業余剰がある。雇用者所得に対する消費の比率（消費性向）はある程度安定的であるが、営業余剰に対する企業の支出（設備投資など）は安定的でないことから、間接2次波及効果の計算に当たっては、一般的に営業余剰は対象外とする。

図表－6 土佐の「おきゃく」2026 経済波及効果推計の流れ



6. 経済波及効果は 38 億 4,008 万円（生産誘発倍率 1.12 倍）

（1）経済波及効果

土佐の「おきゃく」2026 における経済波及効果は 38 億 4,008 万円となった。内訳は、直接効果 25 億 6,075 万円、間接 1 次波及効果 8 億 5,711 万円、間接 2 次波及効果 4 億 2,222 万円となり、生産誘発倍率は 1.12 倍となった（図表－7）。

図表－7 土佐の「おきゃく」2026 の経済波及効果

（単位：千円）

	生産誘発額	粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	雇用効果 (人)	税収効果 県税＋市町村税
直接効果①	2,560,751	1,308,264	743,506	354	79,410
間接 1 次波及効果②	857,112	487,223	251,442	81	31,410
間接 2 次波及効果③	422,215	275,042	123,623	38	18,008
経済波及効果(生産誘発額) (①＋②＋③)	3,840,078	2,070,530	1,118,571	473	128,828
総消費支出額（当初需要額）	3,416,755	（直接効果＋移輸入＋雇用者所得）			
生産誘発倍率	1.12	＝生産誘発額／当初需要額			

- （注） 1. 内訳の各数値を四捨五入するため、内訳と合計の数値は必ずしも一致しないことがある。
 2. 生産誘発額 直接需要額により誘発された各部門の生産額
 3. 粗付加価値額 生産活動によって新たに生み出された価値をいい、家計外支出を除けば県民経済計算の県内総生産にほぼ対応している。粗付加価値額は、家計外消費支出、雇用者所得、営業余剰、資本減耗引当、間接税、及び（控除）経常補助金から構成されている。

（2）粗付加価値額誘発額 20 億 7,053 万円、本県名目 GDP の押し上げ効果 0.086%

経済波及効果により生じる粗付加価値誘発額は、20 億 7,053 万円となった。

その内訳は、直接効果が 13 億 826 万円、間接 1 次波及効果が 4 億 8,722 万円、間接 2 次波及効果が 2 億 7,504 万円となった。これは、令和 4 年（2022 年）度県内総生産（名目）2 兆 4,074 億円に対し、0.086% の押し上げ効果があったことになる。

(3) 雇用者所得誘発額 11 億 1,857 万円、雇用効果 473 人

粗付加価値額のうち、雇用者に分配される雇用者所得誘発額は、11 億 1,857 万円となった。この雇用者所得誘発額が、それぞれの産業の雇用創出にも影響を及ぼす場合、雇用者数を県内総生産で除して得られる雇用係数を用いて、雇用効果を算出すると、473 人の雇用効果を創出したことになる。

(注) 雇用者総数＝有給役員＋常用雇用者＋臨時・日雇

(4) 税収効果 1 億 2,883 万円（県税 5,575 万円、市町村税 7,308 万円）

土佐の「おきやく」2026 がもたらす税収効果について、高知県全体で得られる効果を算出した結果、高知県税として 5,575 万円、高知県内の市町村税として 7,308 万円、計 1 億 2,883 万円となった。

7. 前回（2025 年）との比較

(1) 推計結果の比較

前回（2025 年）と比較すると、土佐の「おきやく」2026 開催による直接効果は 11 億 6,420 万円（＋83.4％）の増加、間接 1 次波及効果・間接 2 次波及効果を含めた経済波及効果は 17 億 4,577 万円（＋83.4％）の増加となった（図表－8）。

図表－8 経済波及効果の比較

	直接効果①	間接1次 波及効果②	間接2次 波及効果③	経済波及効果 (①＋②＋③)
2024年	6億8,987万円	2億3,055万円	1億1,444万円	10億3,486万円
2025年	13億9,655万円	4億6,856万円	2億2,920万円	20億9,431万円
2026年	25億6,075万円	8億5,711万円	4億2,222万円	38億4,008万円
前年比 (増減率)	11億6,420万円 (83.4%)	3億8,855万円 (82.9%)	1億9,302万円 (84.2%)	17億4,577万円 (83.4%)

また、来場者数は 10 万 425 人と前年比 32.3%の増加となった（**図表－9**）。全ての属性において来場者数が増加しており、特に比較的消費単価の高い県外宿泊客が前年比＋10,324 人（＋71.6%）と大幅に増加した。その結果、土佐の「おきゃく」が始まった 2006 年以降、同じ計測方法で推計した経済波及効果としては、2 年連続で過去最高を更新した。

図表－9 来場者数内訳の比較

		高知県内		高知県外		合計
		日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
2024年	来場者数	81,084人	1,213人	2,731人	5,158人	90,186人
	構成比	89.9%	1.3%	3.0%	5.7%	100.0%
2025年	来場者数	57,140人	1,592人	2,742人	14,418人	75,892人
	構成比	75.3%	2.1%	3.6%	19.0%	100.0%
2026年	来場者数	62,766人	3,457人	9,460人	24,742人	100,425人
	構成比	62.5%	3.4%	9.4%	24.6%	100.0%
前年比	来場者数	5,626人	1,865人	6,718人	10,324人	24,533人
	増減率	9.8%	117.1%	245.0%	71.6%	32.3%

（注）各構成比は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計値は 100%とならない

一人当たりの観光消費額を見ると、県内宿泊客を除き前年比で増加した。最も増加額が大きくなった県外宿泊観光客は、交通費（前年比 36.8%増）や土産代（同 63.8%増）の増加が牽引し、全体としては前年比 12,201 円（27.9%）増の 55,924 円となった。飲食費については、県内宿泊客のみ減少しているものの、高い水準を維持している（**図表－10**）。

また、東洋電化中央公園で開催されたイベント（3 月 7・8 日：ご当地グルメ屋台村、3 月 14・15 日：土佐の大座敷）における出店者 1 店舗当たりの売上高をみると、730 千円と前年比 43 千円（5.6%）減となっている。但し、2019 年比では依然消費者物価指数を上回って増加しており、魅力的な店舗の出店により来場者の購買意欲が高まっていることが伺える（**図表－11**）。

図表－10 一人当たり観光消費額の比較

【県内観光客】

(単位:円)

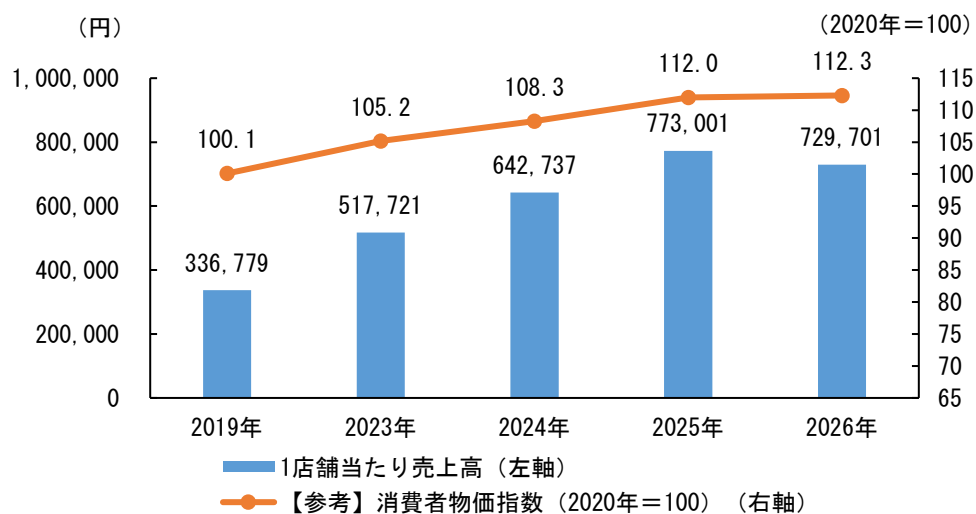
		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	合計
日帰り客	2024年	－	3,234	353	672	58	4,317
	2025年	－	4,618	524	523	103	5,769
	2026年	－	5,002	625	1,327	286	7,240
	前年比	－	384	100	803	183	1,471
	(増減率)	－	(8.3%)	(19.1%)	(153.5%)	(176.7%)	(25.5%)
宿泊客	2024年	11,688	7,800	2,344	2,250	181	24,263
	2025年	10,778	9,011	9,944	7,333	1,222	38,289
	2026年	6,632	6,129	7,763	3,421	1,606	25,551
	前年比	▲ 4,146	▲ 2,882	▲ 2,181	▲ 3,912	384	▲ 12,738
	(増減率)	(▲38.5%)	(▲32.0%)	(▲21.9%)	(▲53.3%)	(31.4%)	(▲33.3%)

【県外観光客】

(単位:円)

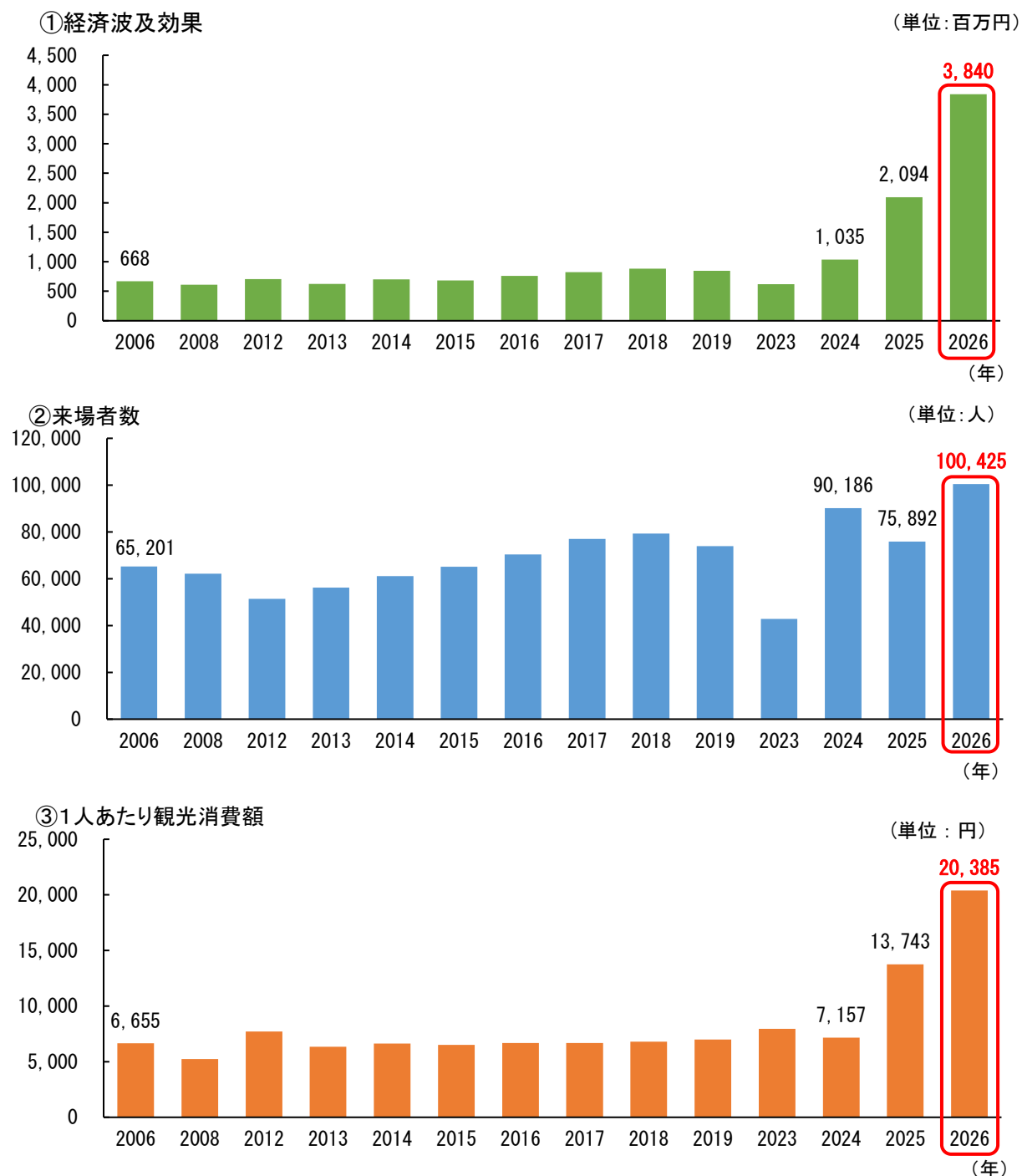
		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	合計
日帰り客	2024年	－	3,985	4,154	3,519	115	11,773
	2025年	－	3,889	2,167	1,917	56	8,028
	2026年	－	4,841	4,750	2,500	677	12,768
	前年比	－	952	2,583	583	622	4,740
	(増減率)	－	(24.5%)	(119.2%)	(30.4%)	(1119.1%)	(59.1%)
宿泊客	2024年	12,283	11,074	11,963	5,331	847	41,498
	2025年	13,280	12,687	11,664	4,707	1,384	43,723
	2026年	15,145	13,691	15,956	7,709	3,424	55,924
	前年比	1,864	1,004	4,292	3,001	2,039	12,201
	(増減率)	(14.0%)	(7.9%)	(36.8%)	(63.8%)	(147.3%)	(27.9%)

図表－11 1店舗当たりの売上高の推移



2006年以降の推計データと比較すると、一人当たりの観光消費額は、最も金額の大きい県外宿泊客の割合が大きくなり、相対的に消費単価が増加したことから、前年比＋6,642円（＋48.3％）の大幅増となった（図表－12）。

図表－12 経済波及効果、来場者数、一人当たり観光消費額の推移



(注) 分析のために使用した「産業連関表」が調査時期によって異なるため、単純な比較はできない。

(注)「③一人当たり観光消費額」は、来場客属性（県内・県外、日帰り・宿泊）ごとの観光消費額を加重平均したもの

（２）推計結果の要因分析

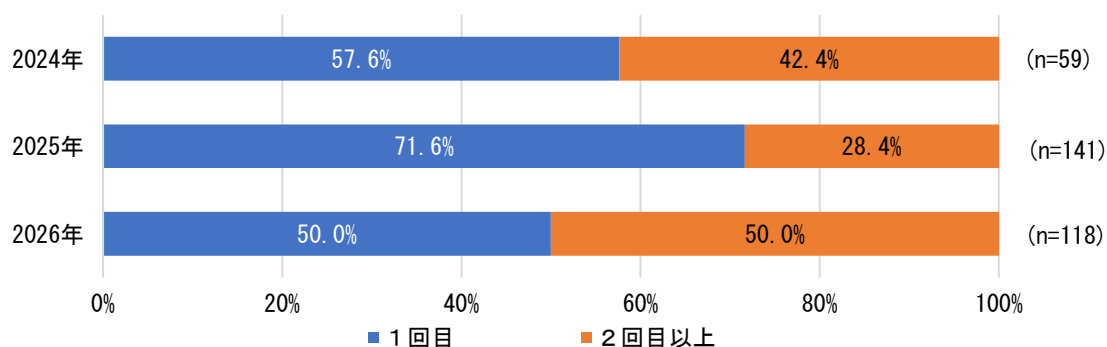
土佐の「おきゃく」2026では、来場者数、一人当たり観光消費額がともに過去最高を更新し、経済波及効果は大幅に増加した前年（2025年）のさらに約1.8倍となった。本節では、その主要因について分析する。

①県外来場者数の大幅増

前述のとおり、2026年の県外来場者数は34,202人（日帰り客9,460人＋宿泊客24,742人）となり、前年比＋17,042人（＋99.3%）と約2倍に増加した。特に消費単価の高い県外宿泊客が前年比＋10,324人（＋71.6%）と大幅に増加したことが、経済波及効果を大幅に押し上げる要因となった。

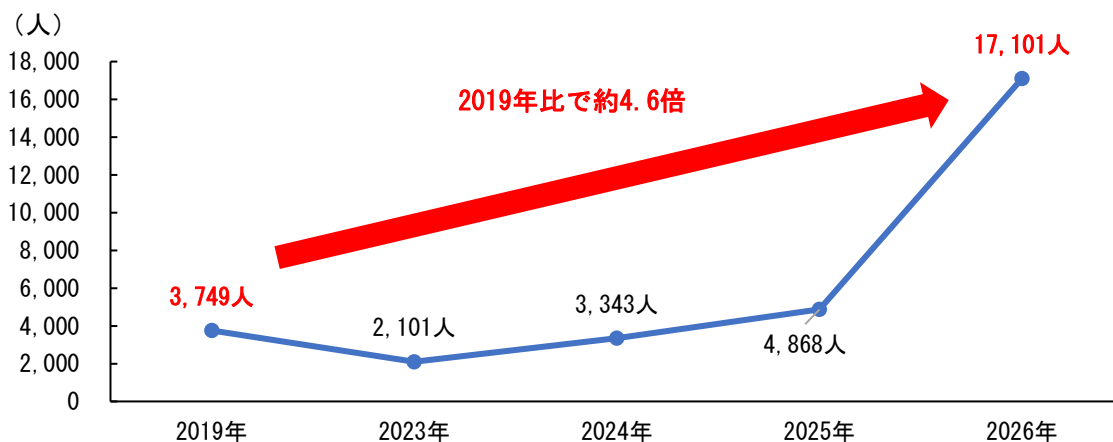
この背景として、リピーター客の増加が挙げられる。県外来場者のうち2回目以上の参加者（＝リピーター）の割合は50.0%となり、前年の28.4%から大幅に上昇した（**図表－13**）。リピーターの実数ベースで換算すると17,101人（2019年比約4.6倍）に達しており、一度土佐の「おきゃく」を体験した県外客が再び高知を訪れるという好循環が形成されつつあることを示している（**図表－14**）。

図表－13 おきゃくの参加回数（県外客のみ）



（注）来場者アンケートより抜粋（詳細版は後述の参考資料に掲載）

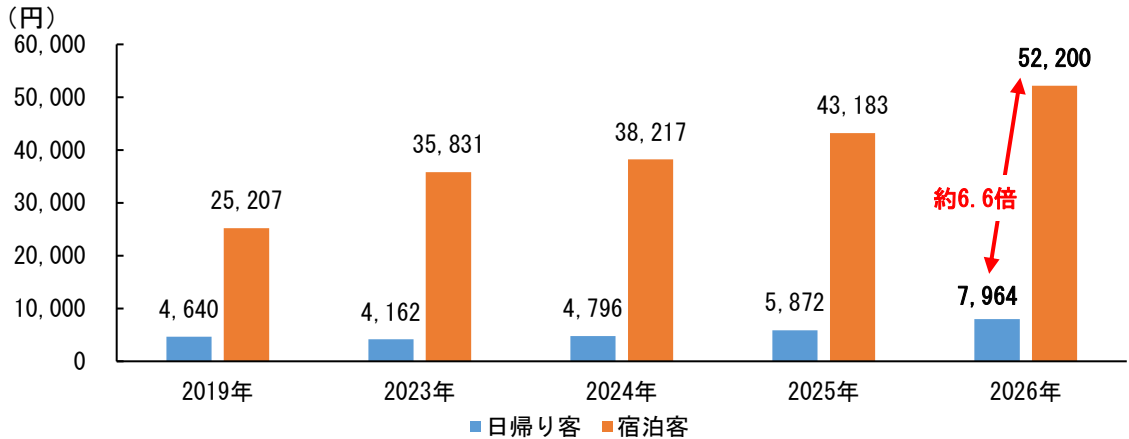
図表－14 県外リピーター客推移（注）



（注）県外からの来場者総数に、土佐の「おきゃく」参加回数が2回目以上の割合をかけた概算値

また、宿泊客の一人当たり観光消費額は日帰り客の約 6.6 倍に達しており、宿泊を伴う来場者の増加が消費額全体を大きく押し上げている要因となっている（図表－15）。県外宿泊客の観光消費額は 55,924 円（前年比＋12,201 円、＋27.9％）と過去最高を更新しており、特に交通費（＋36.8％）・土産代（＋63.8％）の増加が牽引した。遠方からの来訪者が増えたことで交通費が増加するとともに、高知の食文化・地酒・特産品への関心の高まりが土産代の増加に反映されたものと推察される。

図表－15 観光消費単価の比較（日帰り客 vs 宿泊客）



②公式HPに加え、口コミやSNSによる認知度向上

開催期間を含む 28 日間における、土佐の「おきゃく」公式HPへのアクセス数をみると、2026 年は約 308 万回となった。前年比 16.5％減ではあるものの、前年（2025 年）が大幅増（＋39.7％）であったことの反動も考慮すると、依然として高水準を維持していると評価できる（図表－16）。

図表－16 土佐の「おきゃく」公式HPアクセス数の推移

	前後1カ月間のアクセス数 (2/21～3/20)		うち、開催前1週間の アクセス数	
		前年比		前年比
2019年	1,679,117	—	373,433	—
2023年	1,829,404	9.0%	463,021	24.0%
2024年	2,639,867	44.3%	542,715	17.2%
2025年	3,688,822	39.7%	920,455	69.6%
2026年	3,081,055	▲16.5%	724,830	▲21.3%

（注）うるう年の月末（2/29）考慮のため、2024 年のみ 2/22～3/20 の期間分を集計

出所：アトリエエフ調べ

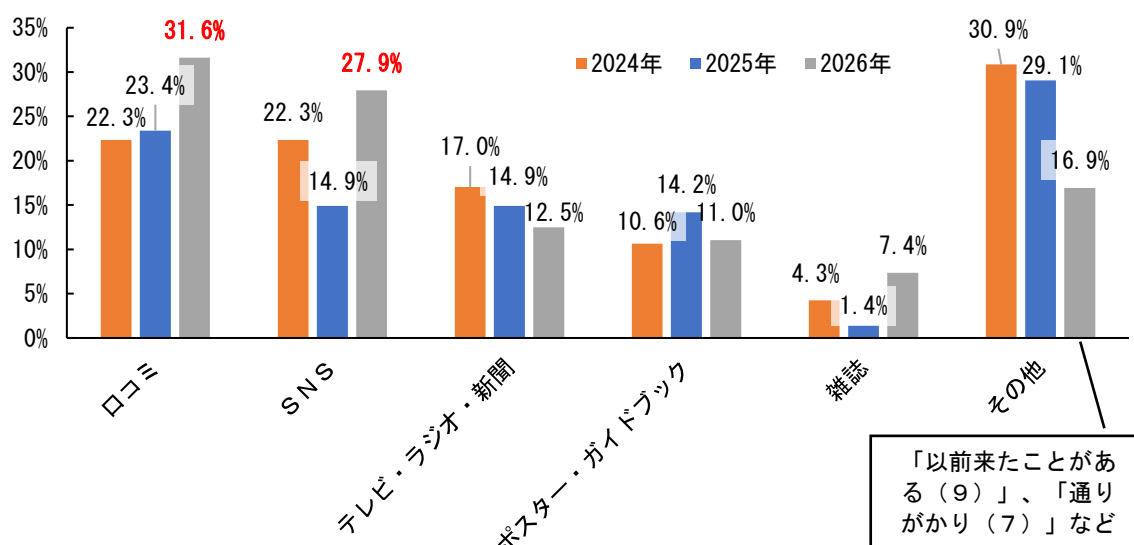
加えて、県外来場者が土佐の「おきゃく」を知ったきっかけとして、「口コミ」が 31.6％、「SNS」が 27.9％と、「テレビ・ラジオ・新聞」の割合（12.5％）を大きく上回ってお

り、自然な情報拡散が県外誘客の主要チャネルとなっていることが伺える（図表－17）。

特に Instagram においては、土佐の食文化・よさこい踊り・皿鉢料理など「映える」コンテンツが多く、また各イベントを紹介する投稿を積極的行ったことで、土佐の「おきゃく」2026 に関する投稿に対するエンゲージメント数¹の平均は 184 と、前年比約 2.3 倍に増加した（図表－18）。

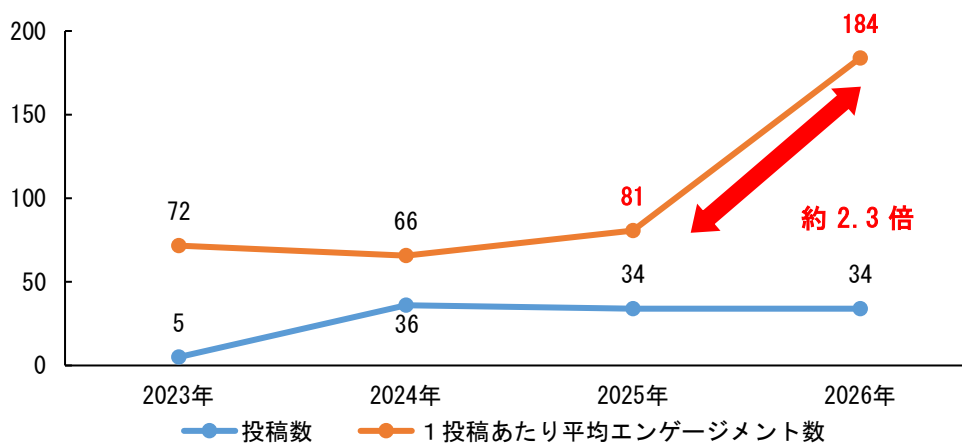
これらを踏まえると、公式HPや口コミ・SNSを通じた継続的な情報発信により、土佐の「おきゃく」の認知度は県外においても着実に向上しており、リピーターの定着と新規県外客の誘客の両面に貢献していると考えられる。

図表－17 土佐の「おきゃく」を何で知ったか（県外客のみ、複数回答）



（注）来場者アンケートより抜粋（詳細版は後述の参考資料に掲載）

図表－18 公式 Instagram の投稿数（注）・1投稿あたり平均エンゲージメント数



（注）各年 1 月～土佐の「おきゃく」終了日までの投稿数

¹ 投稿に対するユーザーの反応（いいね、コメント、保存、シェアなど）の数。エンゲージメント数が高いほどユーザーの関心を引いている可能性が高い。

8. おわりに

土佐の「おきゃく」2026 は、来場者数・一人当たり観光消費額・経済波及効果の全ての項目において過去最高を更新し、高知県の早春を代表する一大イベントとしての地位をさらに確固たるものとした。次回 20 回目の節目となる土佐の「おきゃく」2027 を迎えるに当たり、この成果を一過性のものに終わらせず、持続的な観光振興へとつなげるために、以下の方策について検討が必要となる。

（１）県外宿泊客に向けた魅力的な宿泊プランの造成

消費単価の高い県外宿泊客のさらなる取り込みに向け、「土佐のお座敷体験」「土佐の酒肴」など旅館・ホテルを舞台とした体験型イベントと宿泊をセットにした旅行商品の造成が有効である。現状、これらのイベントについて県外客へのPRが十分でないことが事業者の課題として挙げられており、旅行会社・OTA（オンライン旅行代理店）との連携強化や、SNSを活用した体験コンテンツの積極的な発信が求められる。

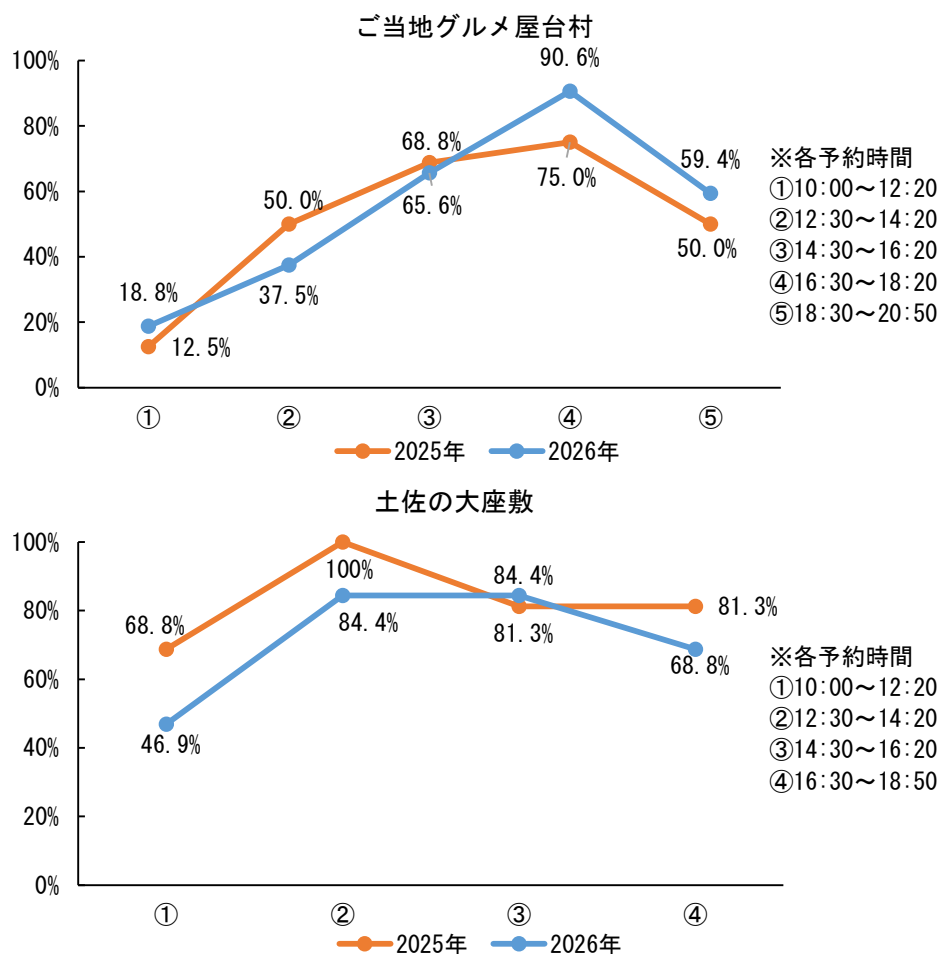
（２）多様な協賛メニューの整備などによる安定的な運営基盤の確立

イベントの継続・拡充には安定した運営資金の確保が不可欠である。企業規模や業種に応じた多様な協賛メニューを整備することは、協賛者の裾野を広げ、地域経済界全体での「おきゃく」支援の機運を高めることができる。同時に、特定スポンサーへの依存度を低減することにも繋がると考えられる。

例えば、来場者からはリユースカップの売り切れに対する意見があった。この対策として、当日販売のみであるリユースカップ&カップホルダーをクラウドファンディングのような個人向け協賛の特典とすることで、来場者が事前に確保できるようになる。

また、2025 年より導入した有料席も、時間帯によって稼働率にばらつきがあるため、稼働率向上に向けた価格設定の見直しも検討に値する（**図表－19**）。

図表－19 東洋電化中央公園の有料席の時間帯別稼働率



(注1) いずれも開催2日間の平均値

(注2) 各時間帯のテーブル数は、2025年：8席、2026年：16席

(3) 県内広域への「おきゃく」効果の波及

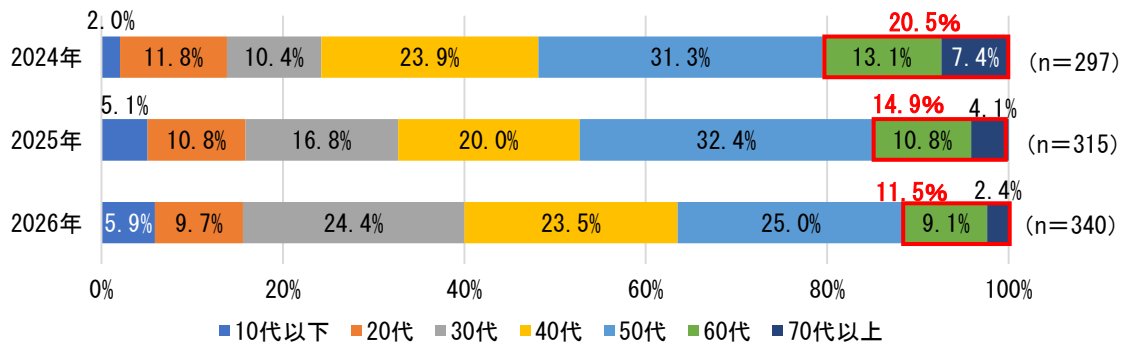
安芸市「シン・安芸のおきゃく」や鉄道を活用した「アテンダント特別企画」など、高知市中心部以外へのイベント展開は、県内広域への経済波及という観点から高く評価できる。今後も県内各地域と連携した分散型イベントの拡充を図ることで、高知県全体の観光底上げにつなげることが期待される。

土佐の「おきゃく」が持つ「誰でも気さくに参加できる」という本質的な魅力を守りながら、時代に合った情報発信と受入環境の整備を継続することで、高知県の観光振興と地域経済の活性化に一層貢献することが期待される。

【参考資料】来場者アンケート調査結果²

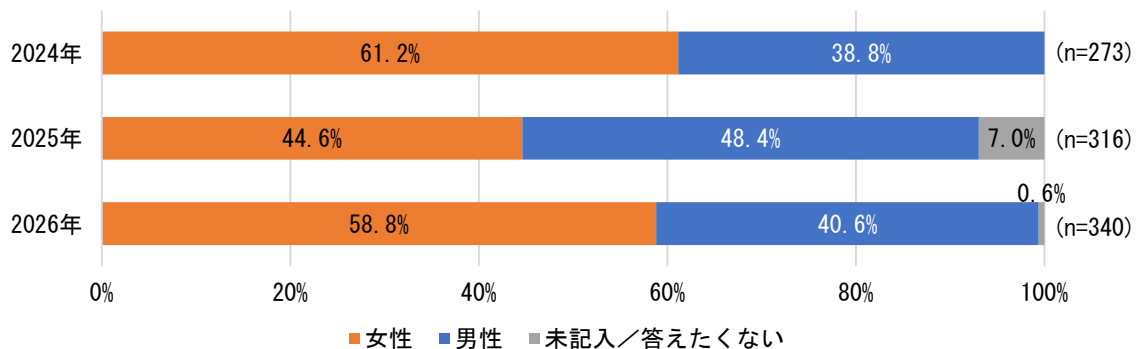
（１）年齢

土佐の「おきやく」2026 来場者の年齢は、「50 代」が 25.0%と最も多く、次いで「30 代(24.4%)」、「40 代 (23.5%)」となった。「30 代」の来場者の割合が前年比+7.6%と大幅に増加している一方、「60 代」・「70 代以上」の割合は 3 年連続で減少している。



（２）性別

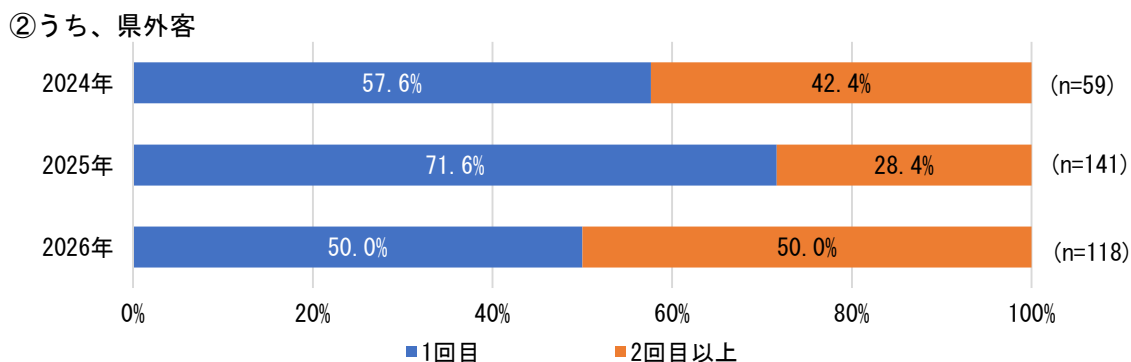
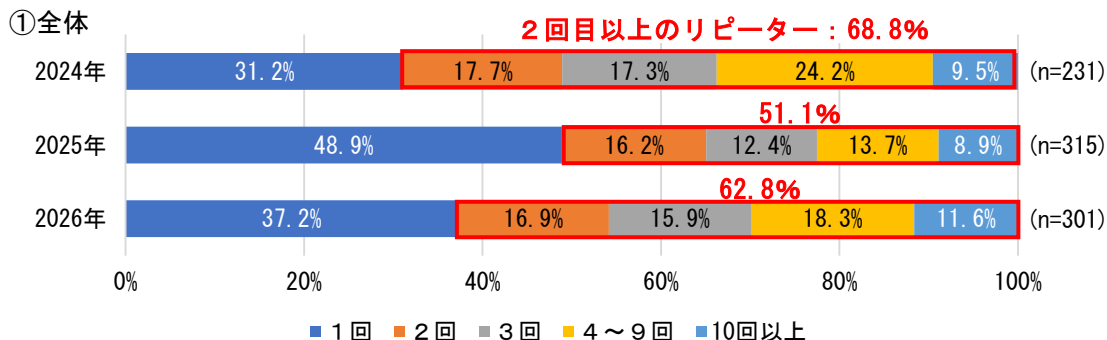
来場者の性別は、「女性」が 58.8%、「男性」が 40.6%となり、女性の参加者が男性を大きく上回った。



² 構成比は小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも 100%とならない。

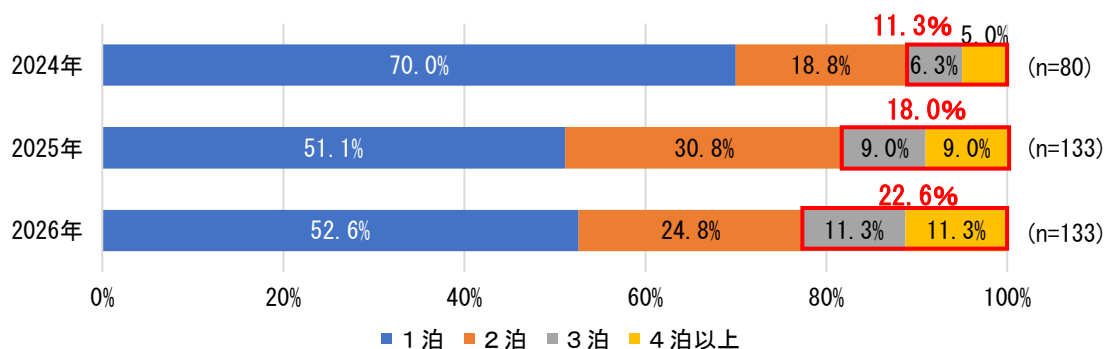
（３）何回目の参加か

これまでに、土佐の「おきやく」に何回参加したかを尋ねたところ、「１回」が 37.2%で最も多くなった。また、２回目以上参加した県外客の割合は 50.0%となり、前回よりリピーターの割合が大きく増加した。



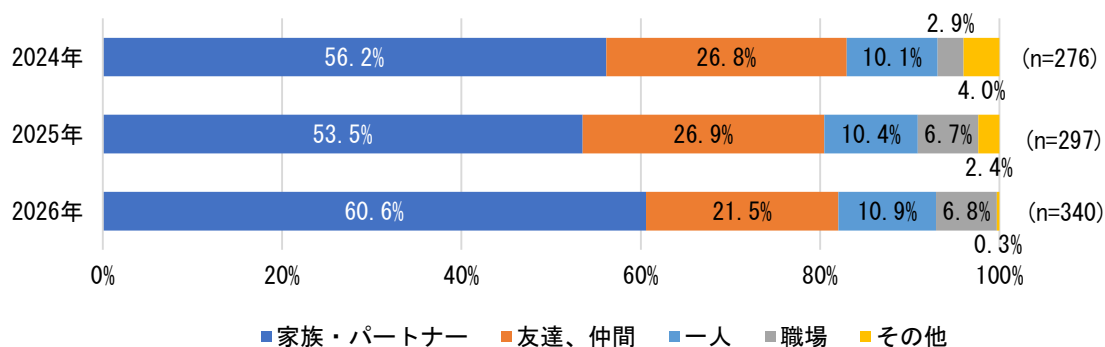
（４）宿泊日数（宿泊者のみ）

宿泊者に対し宿泊日数を尋ねたところ、「１泊」が 52.6%と半数を占め、次いで「２泊」が 24.8%となった。「３泊」以上の長期滞在者の割合は 22.6%（2024 年：11.3%）と 2024 年比で約 2 倍に増加している。



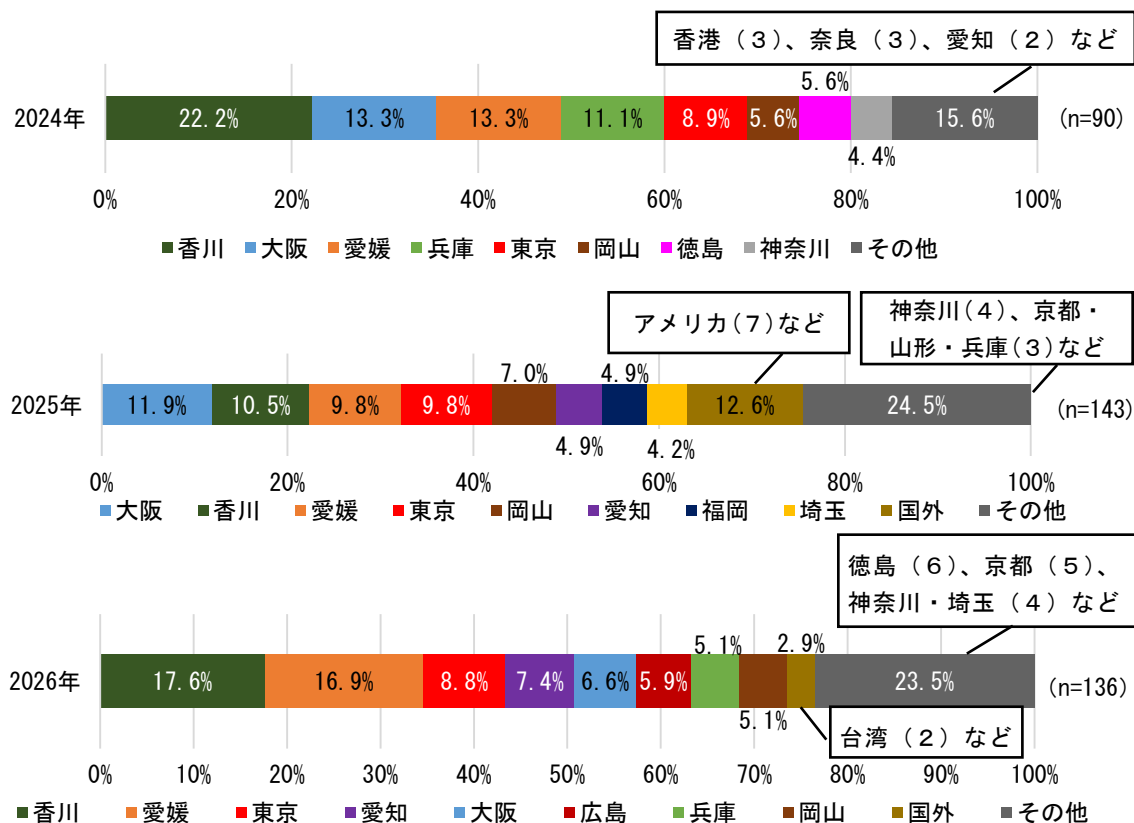
(5) 同行者の属性

同行者の属性について尋ねたところ、「家族・パートナー」と来場した人が全体の 60.6% を占め、次いで「友達、仲間」が 21.5%、「一人」が 10.9% となった。来場者総数が前年比 3 割以上増加する中、例年「一人」の来場者が全体の 1 割を占めている。



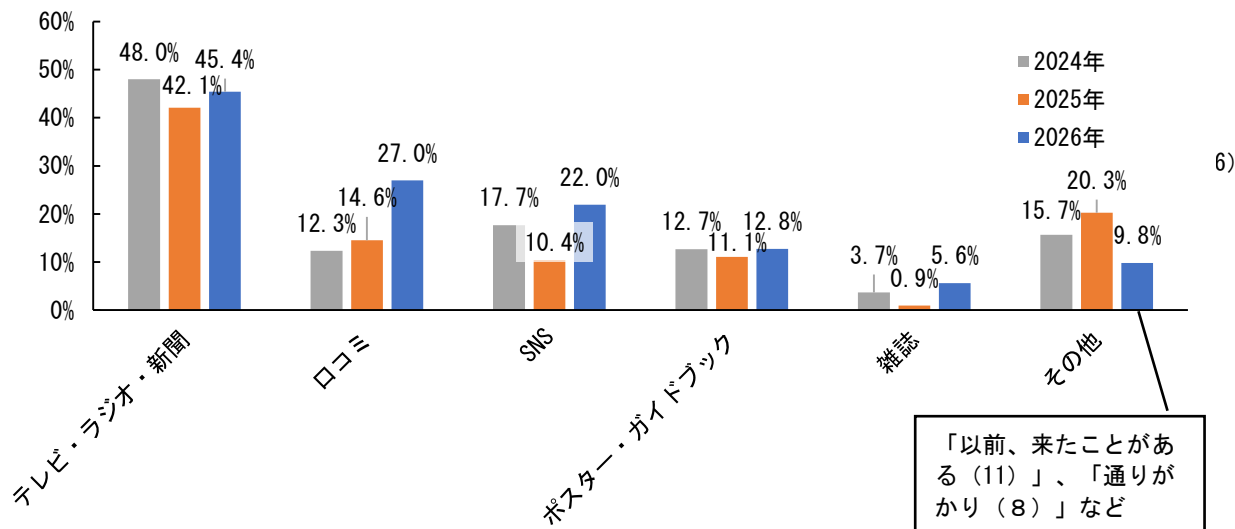
(6) 出発地

県外観光客に対し出発地を尋ねたところ、香川県が 17.6% と最も多くなり、次いで愛媛県 (16.9%)、東京都 (8.8%) となった。2025 年と比較して香川県や愛媛県といった近隣からの来訪が大幅に増加しているものの、なお全国各地から来訪しており、インバウンドの来場者も一定数みられた。関西圏・首都圏・インバウンドなど遠方からの来訪者のさらなる取り込みに向け、今後も情報発信やインバウンドに向けた多言語化・キャッシュレス対応を継続して行うことで、更なる観光客の入込が期待される。



(7) ①何で知ったか（複数回答）

土佐の「おきゃく」を何で知ったかについて尋ねたところ、「テレビ・ラジオ・新聞」が45.4%と最も大きくなった。土佐の「おきゃく」参加者の大多数を県内客が占めることから、例年「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が一番多くなっている。



②何で知ったか（県外客のみ、複数回答）

県外客については、「口コミ」が31.6%、「SNS」が27.9%、「テレビ・ラジオ・新聞」が12.5%となった。知人・友人などからの純粋な「口コミ」による来場者が多く、土佐の「おきゃく」の満足度の高さが、新たな県外客を呼び込む要因となっていると推察される。また、「その他」の項目では、「以前来たことがある」という回答数も一定みられた。

